

大正・昭和のはじめごろ 大正九年（一九二〇）ごろ、村ではじめて自転車で走るのが見られました。数えるぐらいの人しか乗っていなかった。たいていへんめずらしがられました。

東北本線ができ、矢吹、泉崎、白河に汽車がおったのは、明治二十年（一八八七）です。しかし中島村には、鉄道がしかれませんでした。

昭和二年（一九二七）に、乗合自動車のりあいが、白河との間を、一日四往復かへ走りました。ていりゆう所はなく、どこでもお客さんに乗せました。

今では乗合自動車のりあいが、福島交通のバスとなり、中島村ただ一つの交通機関かんとなっています。

今の交通のようす 中島村では鉄道がないため、道路がたいせつな役めをしています。